

# 管理試料の確認 (追加設定方法) 1 / 2

~webの管理試料クライアント名称入力に使用します~

**【精度管理】 【設定】**を見ると名称の確認が出来ます。この名称をwebの管理試料登録のクライアント名称に入力します。  
管理試料を追加する場合は、以下に続きます。

目的のコントロール番号を選択し、【登録】を開きます。

コントロール・種別・ロット番号・有効期限を入力し【登録】にタッチします。(最大60種類)

### 【コントロール選択】

- ・測定を行う場合には必ず選択します
- ・選択したコントロールは青色表示になります。
- ・最大30種類のコントロールを同時に測定できます



# 管理試料の確認 (追加設定方法) 2 / 2

管理値の設定と分析項目の登録をします。

- ・目的のコントロールを選択した後、【編集】を開きます
- ・項目を選択した後、日内・日差の管理平均値と管理SDに数値を入力し【更新】します。
- ・測定する項目全部に上記操作をした後、【登録】します。
- ・全部の項目を選択し、項目選択します。  
(選択した項目は青色表示になります)



## ラックポジションの指定

- ・【精度管理】の【コントロール】を出し、【登録】を開きます
- ・目的のコントロールを選択した後、ラックポジションにラック番号とポジションを入力し、【更新】します。
- ・全部のコントロールの入力が終わったら【登録】します



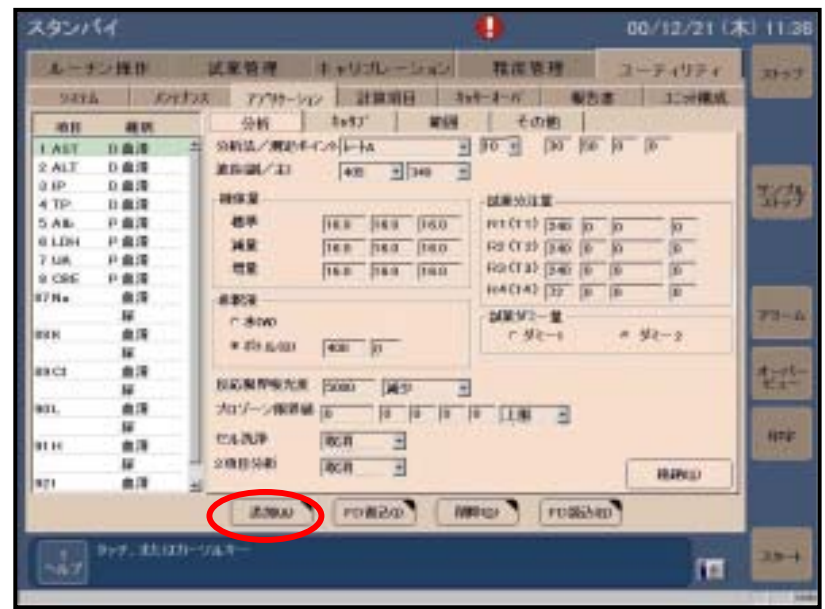
# 項目コードの確認

～クライアント測定項目並び替え設定に使用します～

【ユーティリティ】 【アプリケーション】  
 【分析】を開くと左側に登録してある項目が  
 確認できます。

‘項目コード’は【追加】を指定すると確認することが出来ます。この項目コードとクライアントの測定項目並び替えの番号を一致させます。

注： \*項目コード  
 比色項目 1～910  
 電解質 Na:989 K:990 Cl:991



## 分析装置からFDへデータの落とし方

～webのクライアント名称入力とデータ取りこみに使用するFD～

FDを分析装置のFDドライブに入れます。(新しいFDの時はフォーマットをします)

【ルーチン操作】ジョブの【測定結果】画面をだします。

目的の検体範囲を選択した後、【データ保管】ウィンドウを開きます。

ファイル名に名称を入力した後、【コピー】を選択し、更にデータ出力形式で【アスキー】を選択します。

【実行】にタッチしウィンドウを開いたのち、さらに【はい】にタッチします。

